

## 遠隔医療通訳の最適な使用法の検証

1. 目的 近年、外国人労働者・旅行者の増加に伴い外国人の患者さんが増加しています。そのサポート体制として2019年より医療通訳士が国際臨床医学会のもと承認されることとなりましたが、すべての病院に医療通訳士を派遣することは困難です。そのため、遠隔医療通訳の導入が現実的であるが、この手法は海外では対面通訳と比較し通訳技術・コミュニケーションの困難さが指摘されています。しかし、日本における状況についての詳細は不明であり、現在遠隔医療通訳を導入している当院で実態の調査を行います。
2. 対象 当院を2016年度以降に受診し、医療通訳を利用した患者さんを対象とします。また、医療通訳を利用された職員にもお問合せをする場合もあります。
3. 研究に用いる情報の種類 当院が記録している遠隔医療通訳のサービスのフィードバックシートに記載している国籍、使用言語、利用診療科やその際に生じたトラブルの記述などを調べます。
4. 研究成果の公表について 研究結果は国内での学会に発表する予定です。
5. 個人情報の取り扱いについて 収集したデータはアクセス制御及びウイルス対策ソフトの導入を行ったパスワード付きのPCに保存し、また氏名ではなくナンバリングで管理し個人が特定されないよう十分に配慮します。収集したデータは本研究の目的以外には使用しません。個人情報保護に努めます。
6. お問い合わせ先 本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障が無い範囲で研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ます。また、情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

連絡先 地方独立行政法人 りんくう総合医療センター

〒598-8577 泉佐野市りんくう往来北2-23 電話 072-469-3111 (代表)

国際診療科 南谷かおり (研究責任者)